



金融資産の保有目的は？

病気や災害への備え 老後の生活資金準備

● 「老後の生活資金」準備も7割弱

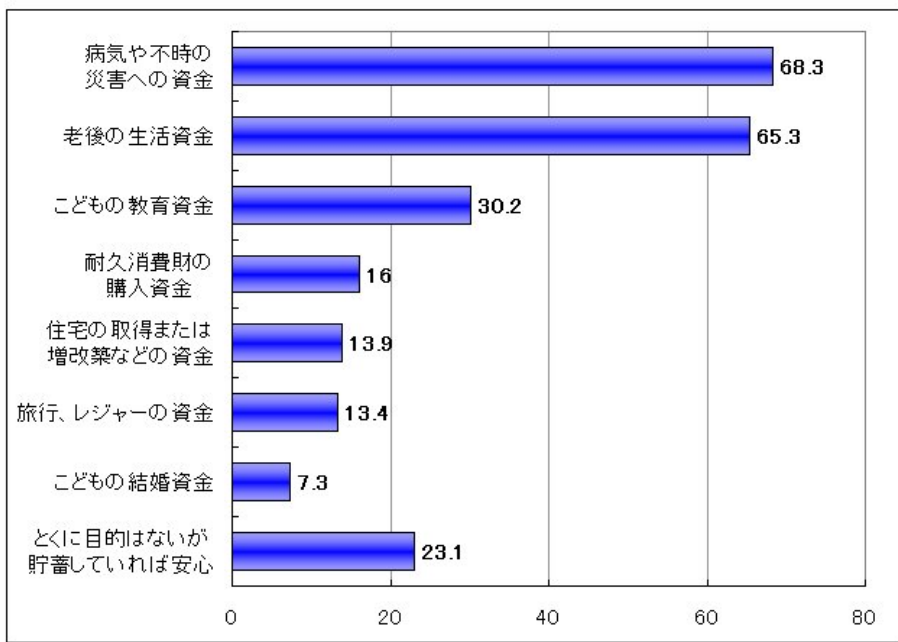
金融広報中央委員会の「平成23年家計の金融行動に関する世論調査（二人以上世帯調査）」では、金融資産の保有額は、全体の平均値は1,150万円で、目標としている金額は2,355万円でした。

金融商品別に見ると、預貯金の構成比がもっとも高く55.2%、以下、生命保険17.4%、有価証券（債券・株式・投資信託）、が14.3%となっています。

貯蓄の保有目的では、「病気や不時の災害への備え」がもっとも多く約、ついで「老後の生活資金」でした。「とくに目的はないが、貯蓄していれば安心」という人も2割強います。

病気や不時の災害への備えを考え からは十分な保障が準備でき、安心で
るならば、預貯金などで少しずつ蓄 ける生命保険が一番ですね。
えるのではなく、契約されたその日

金融資産の保有目的（3つまでの複数回答）



金融商品別構成比（2008年～2011年の推移）

(%)

	預貯金	うち 決済用	うち 定期性	貸付 金銭 信託	生命 保険	損害 保険	個人 年金 保険	有価 証券	債券	株式	投資 信託	財形 貯蓄	その他
2008年	54.3	9.6	33.5	1.0	16.8	2.3	5.9	16.9	3.1	8.4	5.4	2.3	0.5
2009年	55.1	9.5	35.9	0.8	18.0	2.7	6.0	14.4	3.1	6.7	4.6	2.6	0.4
2010年	54.3	9.8	34.2	1.0	17.7	2.7	5.5	15.4	3.7	6.7	5.0	2.5	0.8
2011年	55.2	9.0	33.5	0.9	17.4	2.7	5.8	14.3	3.0	6.6	4.8	2.5	1.1
2011年 の実額(万円)	635	104	385	10	200	31	67	165	34	76	55	29	13

金融広報中央委員会「平成23年 家計の金融行動に関する世論調査」[二人以上世帯調査]より